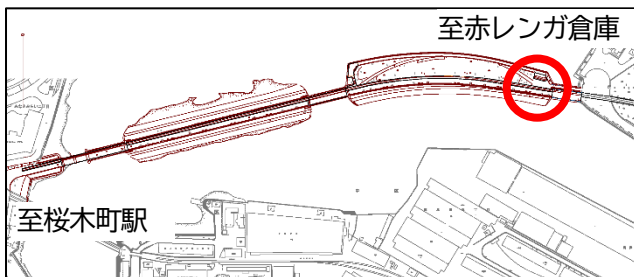


自動車道に鉄道遺構展示施設を整備しました

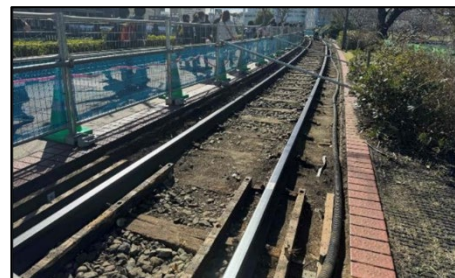
自動車道は、1911年に開通した旧臨港鉄道の廃線跡を遊歩道として整備したもので、ウッドデッキの表面にレールが見える特徴的な景観が多くの方に親しまれてきました。このたび、ウッドデッキの老朽化に伴う改修工事を契機として、普段は見ることでできなかった鉄道遺構を公開する展示施設を新たに整備し、歴史的価値の発信と観光資源としての魅力向上を図ります。

1 整備に至った経緯

工事に伴いデッキを撤去した際、通常は隠れているレール全体や枕木等が露出し、その様子がSNSを通じて大きな話題となりました。「工事期間中だけでなく、いつでも見られるようにしてほしい」との声が多数寄せられたことから、工事後も鉄道遺構の一部を恒久的に展示する施設を整備することとしました。



整備箇所



改修工事中の状況

2 展示施設の特徴

旧臨港鉄道で実際に使用されていたレール・枕木等を可能な限り現地で保存し、その上部をアクリル面より安全に閲覧できる構造としています。夜間はライトアップを行い、周辺景観と調和した演出を行うことで新たな観光スポットとしての価値創出につなげます。



設置状況 (昼)



ライトアップ状況 (夜)

お問い合わせ先			
(工事の内容について)	港湾局建設第一課長	川崎	Tel 045-671-2879
(自動車道について)	港湾局賑わい振興課長	長久	Tel 045-671-2874



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

